

No prohibited knives at school

保護者・児童・生徒向け情報

禁止されているナイフの学校への持ち込み禁止

NSW州では現在、ナイフに関してオーストラリアで最も厳しい法律が適用されています。児童・生徒が公共の場や学校で禁止されているナイフを所持することは違法行為となります。こうした違法行為には最低\$4,400の罰金、または懲役4年またはその両方が科される場合があります。罰金の額は最高\$11,000に上る場合もあります。

いかなる事情があっても、禁止されているナイフを学校に持ち込むことは許されません

学校方針はすべての児童・生徒の安全を守るために策定されており、飛び出しナイフ、さや入りナイフ、プッシュダガー、トレンチナイフ、バタフライナイフ、手裏剣の他、武器として利用できるあらゆる物品（彫刻刀を含む）の学校への持ち込みを禁止しています。

児童・生徒によるナイフの持ち込みが明らかになった場合、学校長は警察に連絡する場合があります。この場合、該当する児童または生徒には即座に退学または停学の処分が下される可能性があります。

たとえ身につけていなくても、ナイフをカバンやロッカーの中に収めている場合には「所有している」ものとみなされます。これはナイフを実際に用いたり、また脅しに使ったりしなくても同様です。自衛の目的でナイフを持つことも違法となっています。お子さまの校内における福祉または安全についてご懸念をお持ちの方は学校長までご連絡ください。

保護者の皆さまには、お子さまにお弁当用のバターナイフや果物ナイフ、および工作用のナイフツールなども持たせないようお願いいたします。料理または工作などの授業でナイフの使用が必要な場合は、担当教員がその準備および監督を行います。

すべての児童・生徒は、学校において安全かつ安心できる環境で学ぶ権利があります。児童・生徒が学校にナイフを持ち込む正当な理由はありません。

ただしホスピタリティを含む一部の上級科目では、例外的に生徒によるナイフの持ち込みが必要となる場合があります。この場合、学校はコースの詳細および合法的にナイフを学校に持ち込む手順について保護者の方々および生徒にお知らせします。

厳罰の適用

法的責任は保護者の方々にあります。保護者の皆さまには、ナイフに関する学校の規則および州法をお子さまに理解させておくようお願いいたします。

児童・生徒にナイフの携行を許した場合は保護者も責任を問われることになりますので、皆さまもこれらの法律を把握していただく必要があります。

ナイフの所持が疑われる場合、警察官はあらゆる小児および青少年を検査し、また発見されたすべての危険物を押収することができます。すべての小児・青少年はこうした警察官の調査に応じる必要があり、応じなかった場合には逮捕・起訴される場合もあります。

刃物を用いた暴行または脅迫には厳しい罰則が設けられており、これは児童・生徒がけんかで相手をナイフで負傷させた場合も同様です。

児童・生徒が他の小児・青少年にこのような犯罪を犯した場合、刑罰はより厳しいものとなり、場合によっては14年から25年の懲役刑が科される可能性もあります。

また16歳未満の小児にナイフを販売することは、年齢や職業等を問わず誰でも違法行為となります。



適用除外

ナイフを持ち運ぶことが必要不可欠であり、その「正当な理由」を立証できれば、例外的に所持を許可される場合があります。

ナイフの所持が「正当に必要」と認められる「正当な理由」には以下が含まれます（ただし以下に限定されるものではありません）。

- 特定の職業、教育、訓練の際に必要とされる合法的なナイフの使用
- 特定の娯楽、レクリエーション、スポーツへ参加する際に必要とされる合法的なナイフの使用
- 宗教上の目的
- 上記でナイフを使用する場所まで持ち運ぶ場合（または持ち帰る場合）

電話通訳サービス

さらに詳しい情報をご希望の方は、学校長までお電話ください。お問い合わせの際に通訳を希望される方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450) をご利用いただけます。

オペレーターにが電話に出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、相手先の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。